



4階2病棟
障害者施設等一般病棟
進藤 月さん

入職時は不安と緊張しかなかった

今は、できることが増え看護師としての
“責任”を意識するようになった



Q.入職した時の気持ち

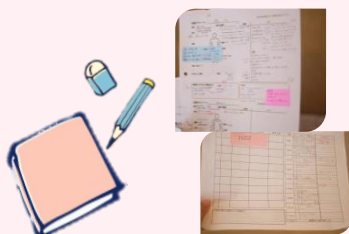
A.4月は不安と緊張しかありませんでした。看護学生ではなく社会人としてここで“働く”と自覚して「大丈夫かな」と不安でした。同期の人と仲良くできるか、うまく人間関係を作れるかと不安と緊張がありました。

Q.今行っているケアや業務

A.指導を受けながら、気管切開をしている患者さんのケアを行っています。オムツ交換は自立できるようになりました。最初は、拘縮が強い患者さんの体位変換ができませんでしたが、毎日ケアをすることでコツを掴んでできるようになってきました。一人で難しいケアは、指導者と一緒に行っています。

Q.仕事をしていて嬉しかったことや難しさ、今の目標

A.初めは患者さんとどうコミュニケーションをとったら良いか分かりませんでした。7月頃から、患者さんと天気やテレビ番組のことなど雑談から話せるようになり、今は患者さんから「昔こんなことをしていた」など教えてくれるようになりました。指導者さんからは「話せるようになったね」と言ってもらえ嬉しかったです。食事介助の場面で、声をかけながら介助をすると「あんたがしてくれるから私は食べれるんだよ」と言われ、嬉しかったです。声をかけることや日々関心を持って会話することは大事なと改めて思いました。難しいことは、「優先順位を考えて行動すること」で、今の目標になっています。



Q.現在の気持ち

A.配属後、一人でできることも少しずつ増えて看護師としての“責任”を意識するようになりました。入職時は、自分が「馴染めるか」「働けるか」という緊張感でしたが、今は患者さんのケアに対する緊張感に変わっています。帰宅後も仕事のことを考えてしまっ、上手に緊張をほぐせず、朝家を出る前には「がんばれ進藤！」って自分を鼓舞していました。心配だったことを翌日指導者さんに伝えると「大丈夫だよ」と言ってもらってホッとしました。病院を出たら仕事のことは忘れようと思いますが、自分の性格ではまだ切り替えるのは難しいです。誰かに話をすることで、気持ちを整理したり緊張を解きほぐしています。



Q.研修で活用できたこと

A.研修の資料を持ち歩き活用している。膀胱留置カテーテルの挿入を実践する時に資料を見ながら行いました。

Q. 学習方法

A.業務の流れは病棟の用紙を使用して整理。患者さんの全体像は患者ケアシートを作成して、疾患やケアについて学習した事を書いて覚えるようにしています。

Q私の国家試験対策と就活

A.とにかく過去問の模試を繰り返し行いました。通学の途中で、スマホのアプリを解いたり、自分が間違えたところは付箋に書いて1冊のノートにして復習していました。慢性期の実習が楽しかったこともあり、学校の先生に就職について相談したところ愛全病院を紹介され見学会に参加しました。実際に見学会で雰囲気を見て「ここなら頑張れそう」と思い決めました、実際に見てみると気持ちが固まると思います。